

平成 30 年度現場実習 4 コース概要

※H30. 7. 23 更新

【コース 1 石巻・雄勝コース 7 月 1 日 (日)】(現場実習終了)

モデレーター：菊地 良覺 (東北工業大学 教授) 伊藤 美由紀 (東北工業大学 准教授)

■視察概要

雄勝地区は昔から漁業と雄勝石産業を生業としてきた 15 浜からなる地域であります。東日本大震災前は 4,300 人程が居住していましたが、震災後は 1,000 人程に激減し、高台移転等の定住人口を如何に増やすか、また石産業・漁業の生業再生が最大の課題といえます。実習では、昨年度に引き続き、復興状況の確認を行うことと致しました。具体的には、大川小学校保存計画、国指定雄勝石産業再生状況、雄勝ガーデン構想、浪板地区、中心部の 9.7m の嵩上げ整備状況、ウニ祭り (鼓舞実演) 状況を現地解説者からの解説を受けつつ視察します。

■行程

- ・ 8 : 00 - 仙台駅東口バスプール集合
- ・ 8 : 30 - 出発
→道の駅「上品 (じょうぼん) の里」→大川小学校→雄勝「店子や」→嵩上げ工事の視察→雄勝石生産販売協働組合工房視察→新雄勝小学校校舎見学→浪板地区「浪板ラボと海水浴場」視察→雄勝ガーデン→仙台着 (17 : 45 予定)

【コース 2 東松島・女川コース 8 月 22 日 (水)】(申込受付終了)

モデレーター：三部 佳英 (宮城県建築住宅センター 顧問)

■視察概要

人口減少等が進むリアス地域は甚大な被災を受け、地域では創意工夫を凝らして果敢に復興に取り組んできた。その例として女川町における人々の復興への思い、暮らしやなりわい、まちづくりなどについて、また仙台圏に近い東松島市では、大規模防災集団移転や買い上げた被災宅地の活用策、学校建設などの先駆的な取り組みを学びます。さらに、石巻市南浜地区の復興祈念公園の工事状況を視察します。これら復興が首長や職員、被災者、支援者など、主体の役割が大きいことを確認します。

■行程

- ・ 8 : 15 - 仙台駅東口バスプール集合
- ・ 8 : 30 - 出発
→女川町・交流センター等観察→石巻市南浜→東松島市野蒜→東松島市野蒜ヶ丘→仙台着 (17 : 00 予定)

【コース 3 仙台市・荒浜コース 10 月 12 日 (金)】(申込受付終了)

モデレーター：中島 敏 (東北工業大学 教授)

■視察概要

荒浜地区は昔から豊かな海の幸の恩恵を受けて暮らしてきた里海文化をもち、震災前には多くの海水浴客で賑わっていたところでもあります。

東日本大震災前は 2,700 人程が居住していましたが、震災後は、居住することはできなくなり、今後の荒浜地域の在り様が現在も最大の検討課題といえます。

実習では、地下鉄東西線最終駅の荒井駅に併設された「メモリアル交流館」の視察後に、荒浜地区に

震災遺構となっている「旧荒浜小学校」の視察と荒浜再生を願う会の方々から被災状況や今後の在り様とに関して意見交換しつつ視察いたします。

■行程

- ・9：30－仙台駅東口バスプール集合
- ・9：45－出発
→荒井駅「メモリアル交流館」→仙台市農業園芸センター→旧荒浜小学校→仙台着（16：00 予定）

【コース4 名取・岩沼・山元・新地コース 10月25日（木）】（申込受付若干名可能）

モデレーター：三部 佳英（宮城県建築住宅センター 顧問）

■視察概要

平野部で甚大な被災を受けた仙台南部の復興も進んでいる。事例として名取市閑上、岩沼市玉浦西、山元町つばめの杜、新地町の取り組みを視察します。それらの地域では、位置や人口、産業の集積状況、復興制度の活用、復興推進関係者の方針で多様な形態を見せている。復興と地域づくりの関係を踏まえ、今後とも進展する人口の縮小、高齢化の中での人々の暮らしや産業、地域のあり方を学習します。

■行程

- ・8：15－仙台駅東口バスプール集合
- ・8：30－出発
→新地町→山元町坂元・山下視察→岩沼玉浦西視察→岩沼市希望の丘→名取市閑上・災害公営住宅等視察→仙台着（17：00 予定）

※当日の状況により、時間及び見学箇所の変更等が発生する場合がございます。ご了承ください。

※参加費は、無料です。

貸切バスにて各地域に移動します。

各自負担での昼食になります。